



株主の皆さまへ
第**69**期
第2四半期のご報告
2016.04.01 ▶ 2016.09.30



全ては健康を願う人々のために

社長メッセージ

事業環境の変化の中、 付加価値サービス型ビジネスモデルへの 変革を進めます

2017年3月期第2四半期(累計)の 事業環境と業績結果

医薬品業界においては、本年4月の医薬品市場拡大再算定の特例を含む7.8%の薬価基準引き下げやジェネリック医薬品のさらなる使用を促す診療報酬の改定など医療費抑制策が推し進められています。このような中、当社は医療・健康・介護分野に携わる企業集団として、引き続き顧客支援システム・サービスの提供や、地域包括ケアシステムへの貢献など、付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革を図ってまいりました。

また、本年11月1日には「共創未来ファーマ株式会社」を発足し、医薬品の製造受託に加えて開発・製造・販売事業に取り組むこととしました。当社の経営資源を最大限に活用して、お客さまの需要に的確に対応する製造販売一体型のビジネススキームを確立し、高品質で付加価値の高いジェネリック医薬品を中心に医療用医薬品を安定的かつ合理的に提供することを目指しています。

こうした取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,157億78百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益76億40百万円(同25.1%増)、経常利益105億

Top Message



代表取締役社長
濱田 矩男

69百万円(同15.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益68億90百万円(同61.1%増)となりました。

セグメントの取り組みと状況について

医薬品卸売事業では、薬価の引き下げや仕入原価率の上昇、ジェネリック医薬品の拡大があったものの、C型肝炎治療薬の売上や抗がん剤等の新薬の寄与がありました。さらに、当社独自の顧客支援システムの契約件数を拡大し、販売費及び一般管理費の抑制につとめた結果、売上高は5,916億87百万円(前年同期比2.5%増)となり、セグメント利益は78億54百万円(同49.0%増)となりました。

調剤薬局事業については、薬価改定及び調剤報酬改定に対する適応の遅れがありました。また、店舗業務の標準

社長メッセージ

化や本部への業務集約等による経費削減策を実施したものの、生産性の改善が進まず経費が前年同期を上回りました。その結果、売上高は471億52百万円(前年同期比1.0%減)、セグメント利益は1億89百万円(同79.7%減)となりました。

治験施設支援事業では、売上高は1億66百万円(前年同期比36.9%減)、セグメント利益は53百万円(同63.4%減)となり、情報機器販売事業においては、売上高6億11百万円(前年同期比1.7%減)、セグメント損失は35百万円(前年同期は57百万円のセグメント損失)となりました。

※セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでいます。

通期の業績予想・配当について

下期においても当社を取り巻く環境は引き続き厳しいも

のと予想されます。通期連結業績予想については当初予想を修正し、売上高1兆2,350億円、営業利益135億円、経常利益189億円、親会社株主に帰属する当期純利益124億円を見込んでおります。

なお、当期末の配当金は1株当たり15円を予想しており、当第2四半期末の15円と合わせて年間配当金額は1株当たり30円となる見通しです。引き続き、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして位置づけ、1株当たりの利益を向上させるとともに、利益配分については、将来の収益基盤の強化と市況変動に備えて内部留保の充実に努めながら、配当は安定的かつ継続的に向上してまいります。

株主の皆さまには引き続きご支援・ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト (2016年9月30日現在)

Financial Highlights

Point

医薬費抑制策が推進され
厳しい事業環境

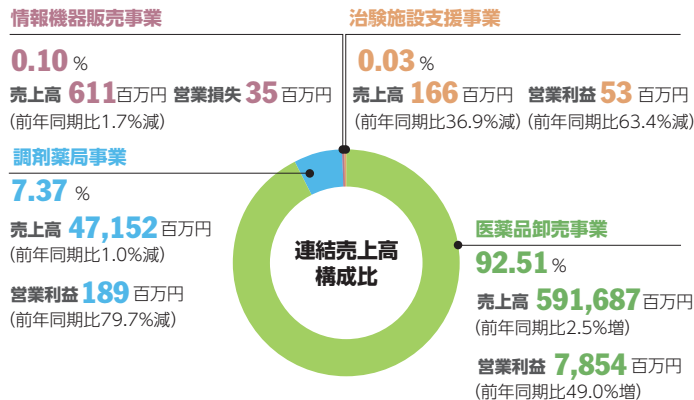
Point

医薬品卸売事業は、
新薬が実績に寄与

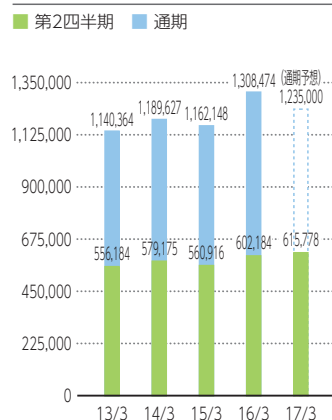
Point

配当は前期比2円増の
年間30円を予定

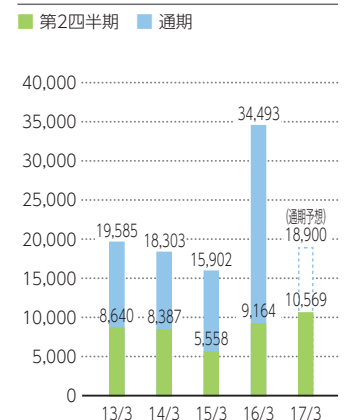
事業セグメント別情報



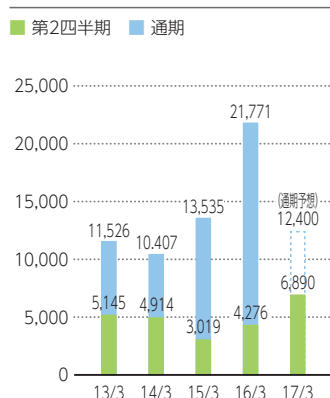
売上高 (百万円)



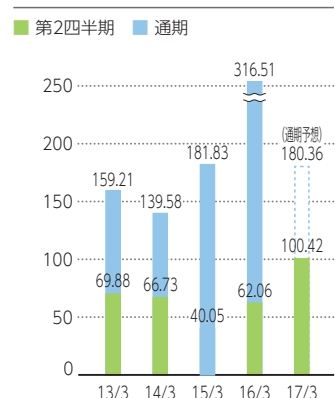
経常利益 (百万円)



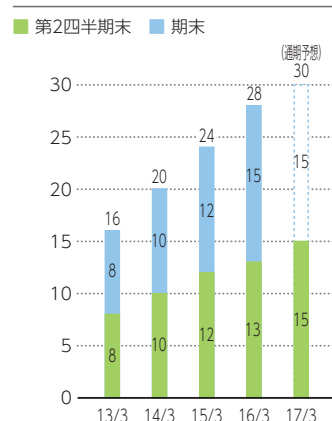
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 (百万円)



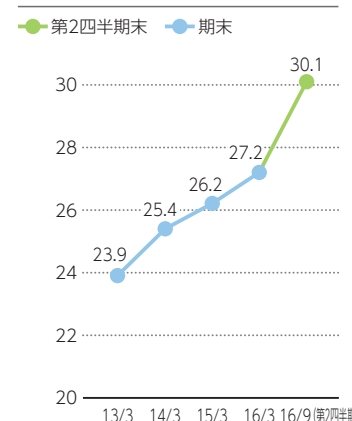
1株当たり四半期(当期)
純利益(EPS) (円)



1株当たり配当金 (円)



自己資本比率 (%)



※13/3～16/3は期末の数値、16/9は第2四半期末の数値を掲載

訪問看護師の大切な お仕事を「エニフナース」が サポートします



訪問看護師向け業務支援端末 「エニフナース」が誕生しました。

患者さまを在宅でケアする「地域包括ケアシステム」が広がりを見せています。在宅医療・介護には、多くの専門職の連携が欠かせませんが、中でも訪問看護師は本来の業務以外にも、かかりつけ医の指示に基づく医療的処置、薬や医療材料の手配など多忙を極めています。加えて様々な報告書や記録書の作成・提出もかなりの負担となっています。そうした状況の中で、訪問看護師の負担を軽減するため、音声入力で計画書・記録書が作成できないかとの声に応え、「エニフナース」が誕生しました。

難しい専門用語にも 対応しています。

訪問看護の現場では様々な専門用語が飛び交います。音声入力の際には、「褥瘡(じょくそう)」や「痙攣(けいれん)」などの専門用語を正確に素早く変換できることが大きなポイントになります。この課題に対し「エニフナース」では、スピーディーに高い精度で文字変換する音声認識辞書「こえじ®」アプリを搭載しています。多くの訪問看護師の業務負担の軽減を可能にし、働きやすい環境づくりのお手伝いを実現していきます。

「エニフナース」の便利な 機能をご紹介します

- 1 音声認識辞書を搭載し、音声入力で計画書・記録書を作成
- 2 前回の記録をワンタッチで活用
- 3 訪問看護記録システムに、褥瘡評価機能や写真の添付も可能
- 4 医薬品・医療材料検索、栄養・食のサポートなどの情報共有も簡単
- 5 液晶画面に抗菌フィルムを採用。汚れの付着も、アルコールなどで簡単に除去
- 6 女性が片手で持て、滑りにくく持ちやすいコンパクトなデザイン



共創未来ファーマ株式会社

医薬品市場の急速な変化に応える 「共創未来ファーマ株式会社」が発足



事業領域を拡大した新たな体制下での取り組み

当社は、完全子会社であるエール薬品株式会社の商号を11月1日付で「共創未来ファーマ株式会社」(以下「共創未来ファーマ」)に変更し、新体制の下で事業を展開します。共創未来ファーマでは、エール薬品が行ってきた医療用医薬品の受託製造事業に加え、ジェネリック医薬品を中心に医療用医薬品の開発・製造・販売事業も展開します。



高品質・高付加価値な医薬品を安定的に供給します

現在、政府が掲げるジェネリック医薬品の使用促進(平成30年から平成32年の早期に数量シェア80%)やスペシャリティ医薬品・希少疾病用医薬品の拡大など、急速な医薬品市場の変化に適したサプライチェーンの再構築が課題となっております。共創未来ファーマでは、品質に関する独自の検証に基づく医薬品流通を実現することでこの課題に応え、医薬品に対する国民や医療関係者の皆さまの信頼を高めてまいります。

また、近未来を見据え、当社の経営資源を最大限に活用して、顧客の需要に的確に対応するイノベーションな製造販売一体型のビジネススキームを確立し、高品質・高付加価値な医薬品を安定的かつ合理的に提供することを目的として事業開発に取り組んでまいります。

○ 会社データ

| | |
|-------------|---|
| 会社名 | 東邦ホールディングス株式会社 |
| 本店 | 〒155-8655 東京都世田谷区代沢5-2-1 電話番号: 03(3419)7811 |
| 丸の内 オフィス | 〒100-6613 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー13F 株式担当: 03(6838)2801 IR担当: 03(6838)2803 |
| 設立 | 昭和23(1948)年9月 |
| 資本金 | 106億49百万円 |
| 株式 | 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:8129) |
| 従業員数 | 8,038名(連結) |
| グループ 会社 | 医薬品卸売事業: 東邦薬品(株) 調剤薬局事業: ファーマクラスター(株) 情報処理事業: (株)東邦システムサービス 不動産事業: 東邦不動産(株) 臨床試験受託・支援事業: (株)東京臨床薬理研究所 情報処理機器の企画・販売業: (株)アルフ スペシャリティ医薬品関連事業: オーフアントラストジャパン(株) 院内物流支援事業: (株)ホスピタルパートナーズ 企業経営・医療経営コンサルティング: (株)ネグジット総研 情報提供サービス業務、等: (株)eヘルスケア 通所介護施設の運営: 共創未来メディカルケア(株) 認知症高齢者及び介護者サポート事業: (株)みらい町内会 |

○ 役員

| | | | |
|---------|--------|-----------------|-------|
| 代表取締役会長 | 河野 博行 | 取締役(社外) | 渡邊 俊介 |
| 代表取締役社長 | 濱田 矩男 | 取締役(社外) | 村山 昇作 |
| 常務取締役 | 森久保 光男 | 取締役(社外) | 永沢 徹 |
| 常務取締役 | 荻野 守 | 取締役相談役 | 松谷 高顕 |
| 常務取締役 | 加藤 勝哉 | 監査等委員である取締役 | 清水 英行 |
| 取締役 | 本間 利夫 | 監査等委員である取締役(社外) | 戸梶 幸夫 |
| 取締役 | 松谷 竹生 | 監査等委員である取締役(社外) | 中村 耕治 |
| 取締役 | 枝廣 弘巳 | 専務執行役員 | 高田 龍三 |
| 取締役 | 内藤 温子 | 執行役員 | 小川 健吾 |
| 取締役 | 有働 敦 | 執行役員 | 上野 淳 |
| 取締役 | 馬田 明 | 執行役員 | 河村 真 |
| 取締役 | 武田 一夫 | 執行役員 | 藤本 茂 |

○ 株主メモ

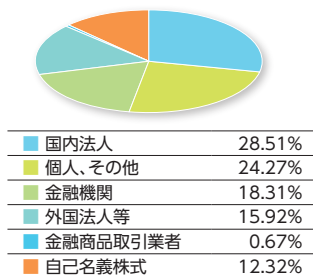
| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月に開催いたします。 |
| 期末配当金 受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金 受領株主確定日 | 9月30日 |
| 公告方法 | 電子公告 (http://www.tohohd.co.jp/) による。 (止むを得ない事由により電子公告できない場合は、 日本経済新聞に掲載する。) |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031(平日9:00~17:00) |

(ご注意)

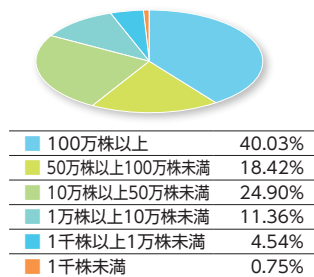
- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。
なお、三井住友信託銀行全国各支店にてお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 発行可能株式総数 192,000,000株
● 発行済株式の総数 78,270,142株
● 株主数 4,500名

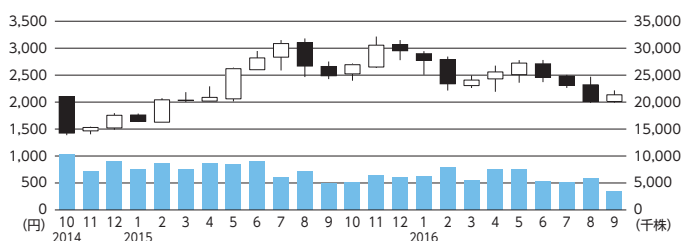
● 所有者別株式分布状況



● 所有株数別株式分布状況



● 株価および売買高の推移(月足)



● 株主優待制度

毎年3月31日(当社期末)最終の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有の株主さまといたします。

2016年3月期の贈呈商品例 ▶

保有株式数に応じて以下の商品を贈呈いたします。

| | |
|---------------------------|---------------------|
| 100株以上1,000株未満 保有の株主さま | 1,000円相当の 当社取扱商品 |
| 1,000株以上 保有の株主さま | 3,000円相当の 当社取扱商品 |

※ご優待内容については見直しをすることがございます。

贈呈時期 毎年7月中の送付を予定しております。

● 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、特別口座に記録されている場合と、証券会社の口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問合せください。

特別口座に記録された株式

| お手続き、ご照会等の内容 | お問合せ先 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取請求 ● 住所・氏名等のご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定(*) ● マイナンバーに関するお届出・お問合せ | 特別口座の 口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031(平日9:00~17:00) http://www.smbt.jp/personal/agency/ |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ | 株主名簿 管理人 |

(*)特別口座に記録された株式を全所有の株主さまは、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社の口座に記録された株式

| お手続き、ご照会等の内容 | お問合せ先 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ | 株主名簿 管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031(平日9:00~17:00) |
| ● 上記以外のお手続き、ご照会等 | 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。 |